

「つかう」「つくる」「つなぐ」をコンセプトに、市民が主体となり、公園を多様な活動ができる「居場所」として整備

事業内容

◆誰もが、自由に、好きなことに「つかう」

・来園した地域住民が交流する仕掛けとして、市民自らイベントを企画

【イベントテーマ例】

「ART & MUSIC の日」

地元アーティストや市民等が作品を披露、作品づくりの体験

「自然遊びの日」

市民や地域団体等による自然を感じる遊び（ハンモック、公園探索等）

・地域団体やクリエイターに活動の場を提供（イベントへの出店等）

◆過ごしやすい、交流が生まれる空間を「つくる」

・公園で過ごし方・遊びを広げるための施設整備、機能向上

例：テーブル・ベンチ・ウッドデッキ等の設置、舗装・芝生の整備、シェアスペースの整備

◆ヒトとヒト、ヒトとコトを「つなぐ」

・公園でどんな過ごし方・遊び方をしたいか、ワークショップで検討し、参加メンバーを居場所づくりの主体としてネットワーク化

・ワークショップの過程やリニューアルした公園を紹介する動画によりネットワークを拡大、持続的な活動へ

